

尾原ダム湧水対策検討委員会（第２回）の総括

１．議事の内容

平成２３年７月２２日に開催した尾原ダム湧水対策検討委員会（第２回）において、以下の内容について審議を行った。

○審議内容

- １）尾原ダム試験湛水の状況及び湧水の経緯報告 等
- ２）計測結果の報告
- ３）調査内容・結果の説明
- ４）今後の対応

２．審議の結果

尾原ダムにおける現在までの事象及び調査内容・結果、今後の対応について審議を行った。
審議結果は以下のとおりである。

- ・尾原ダム左岸下流湧水の要因としては、地山地下水及び貯水池からの浸透が考えられるが、湧水の水温が周辺地山の地下水温よりも高いことから、左岸花崗岩深部からの経路が主要因と推測される。
- ・降雨と湧水量の関係から、降雨による湧水量への影響が見られる。
- ・上記の湧水の要因を踏まえ、また、ダム堤体の計測データや巡視結果等から、ダム堤体の安定性には問題ないと考えられる。
- ・尾原ダムの試験湛水にあたっては、通常のダムの挙動監視に加え、湧水や地下水位の計測を継続的に行うこと。